

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(2)番 福山市立 城北 中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学ぶ力	他者とかかわる力	社会貢献力	自己形成力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	学習したことを自ら語れる。	根拠を持って、正しい判断をしている。よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方をしている。自分の考えを相手が分かりやすいように伝えられる。	自ら課題を見いだし、解決しようとしている。	他者と協力して、課題を解決しようとしている。他社との関わりを通して、自らの考えを深めたり変えたりしている。	他者との共存の中で、集団の利益になることを考え実践しようとしている。	前向きにチャレンジし、より自立・自律した人間になろうとしている。自らに自信を持っている。

2 授業の現状

「主体的な学び」をめざした単元計画に基づく各教科、総合的な学習の時間の授業実践を行ったが、課題発見・解決学習を行うための基礎・基本的な学力の定着が不十分な状況もあった。

転換

3 めざす授業の姿

- ・本校で設定した資質・能力を育成するために、単元の中に基礎・基本的な学力の十分な定着と、生徒が主体的に学ぶ場面をバランスよく設定し実践する。
- ・特別支援を要する生徒への効果的な対応を交流し、生徒の自己肯定感を高める授業をめざす。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組 〔学びの変革〕	8月末の状況 〔学びの変革〕	9月からの取組 〔学びの変革〕	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
○各教科、総合的な学習の時間の単元指導計画の改善と実践 ○生徒が主体的に学ぶ場面を取り入れた授業づくりを推進するための研修・実践〔学力向上〕 ○全国学力調査の分析〔授業改善〕 ○ブロック別研修での授業研究(英語) ○校内授業研究の実施(総合) ○講師を招聘した特別支援研修(8月)	○教科会でカリキュラムマップの見直し、学年にて総合的な学習の時間の今後の授業計画等の検討 ○校内研修(総合的な学習)の実施と6月実施の生徒アンケートの分析〔学力向上〕 ○全国学力調査の正答率の低い問題の把握と授業改善に向けた検討〔授業改善〕 ○ブロック別研修での授業研究実施(英語) ○授業見る視る週間による授業参観の実施	○各教科、総合的な学習の時間の単元指導計画の改善と実践 ○生徒アンケート「授業に関する項目」を意識した授業改善〔学力向上〕 ○全国学力調査の分析をもとにした取組〔授業改善〕 ○ブロック別研修での授業研究(社会・数学・理科) ○授業見る視る週間による授業参観の実施			

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)		〈児童生徒質問紙調査〉(%)		(肯定的評価)
国語	72 (74)	自分にはよいところがある		88.7
数学	55 (60)	先生はよいところを認めてくれる		81.8
英語	52 (56)	将来の夢や目標を持っている		77.9
		人の役に立つ人間になりたい		97.8

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	85.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	64.9
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	70.3
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	80.7

暴力行為発生率・不登校児童出現率（％）		（ 8 ）月末現在	
暴力行為	0	不登校	3.8

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 11/24	<目標値> 県平均以上 37以上/48項目	重点課題 ①握力	①ハンドグリップを廊下に掲示し、休憩時間等握力を強化するよう呼びかける。
(女子) 13/24	<結果> 県平均以上 24/48項目	②ハンドボール投げ	②体育の授業内の補強運動中に投力を補強する取り組みを入れる。
目標値	全項目を全国平均以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	77.4	0.0
仕事に充実感がある	62.5	0.0

児童生徒アンケート(%) (6)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
自分には、よいところがあります	86	14
教員について、自分の成長に貢献していると感じる	93	7